

平成 29 年度 久慈保健所事業の実施状況について

※ 実績は、特に断り書きがない限り、平成 30 年 1 月末現在である。

1 保健所運営

- 保健所運営協議会（平成 30 年 2 月 27 日開催）
保健所の所管区域内の地域保健及び保健所の運営に関する事項を審議いただく。
（設置根拠：地域保健法第 11 条、保健所運営協議会条例）

2 医療推進

（1）医療従事者の確保

将来の医療従事者確保を目的として、中学生を対象に次の事業を行った。

ア 医師による出前講座の開催：管内 11 中学校 458 人参加（平成 29 年 6～7 月）

開催市町村	開催中学校	協力医療機関
久慈市	久慈中学校、長内中学校、大川目中学校、三崎中学校、山形中学校	県立久慈病院
洋野町	種市中学校、宿戸中学校、中野中学校	洋野町国民健康保険種市病院
	大野中学校	洋野町国民健康保険大野診療所
野田村	野田中学校	県立久慈病院
普代村	普代中学校	普代村国民健康保険診療所

（生徒の感想）

- ・医師の仕事の内容や魅力を知り、興味をもつことができた。
- ・多職種連携を知り、“医療に携わる仕事”への関心をもつことや、地域医療を知るきっかけになった。

イ 医療現場体験会の開催

：会場 県立久慈病院 管内 4 中学校から 28 人参加（平成 29 年 7 月 27 日）

出前講座を受講した生徒の中から希望者を募り開催したものであり、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師等の説明を受けながら、病院内を歩いて見学するとともに、医療器具の操作なども体験した。参加者は、病院内では、多くの専門職種の方々が、緊張感を持って緊密に連携しながら仕事をしていることを実感し、さらに“医療に携わる仕事”への関心を高めた様子であった。



医師による出前講座（中野中学校）



医療現場体験会（岩手県立久慈病院）

（2）医療・介護・福祉の連携

急速な高齢化が進む中で今後、需要の増大が予測される在宅医療や介護サービス等について、関係機関が連携して支援する体制作りを推進するため、次の取組を行った。
主な実績は、次のとおり。

- ア 久慈圏域医療連携会議及び久慈構想区域地域医療構想調整会議の開催
： 2回（平成 29 年 10 月 31 日、平成 30 年 2 月 1 日）
岩手県保健医療計画 2018-2023 の中間案及び地域編についての意見交換を行った。
- イ 第 7 次保健医療計画及び第 7 期介護保険事業計画における整備目標及びサービス量の見込みに係る整合性の確保に関する協議の場
： 5回（平成 29 年 12 月、久慈医師会及び管内 4 病院）
病院の機能分化等によるサービス量の調整について協議を行った。
- ウ NPO 法人 北三陸塾の企画運営会議等への参加
： 7回（平成 29 年 6 月～平成 30 年 2 月）
※北三陸塾は、H26.10 に久慈圏域の医療・介護・福祉の連携を図るため設立された。

（3）医療安全対策の推進

医療安全対策の一層の推進を図るため、医療従事者を対象に、次の事業を行った。

- 久慈地域医療安全対策研修会の開催（平成 30 年 1 月 18 日、於：県立久慈病院）

3 医療監視

病院や診療所等の医療提供の安全性と適正な管理運営の確保を目的として、医療法等の規定に基づき、次のとおり立入検査を行った。（平成 29 年 7 月～平成 29 年 12 月）

- 病院 4 施設、一般診療所 5 施設、歯科診療所 4 施設、その他 7 施設、計 20 施設

4 心肺蘇生法普及

救急救命率の向上を図るため、AED等の貸出しを行った。

（1）AED講習会への貸し出し

ア 管内小中学校教員対象AED講師養成講習会（1回、54人参加）

県北教育事務所が久慈地域と二戸地域で毎年度交互に実施地域の保健所と共催で開催し、受講者には修了証書を発行している（平成 29 年度は久慈地域で開催）。

イ その他の講習会：24回（1,450人参加）

（2）イベント等開催時の貸出

「久慈あまちゃんマラソン大会」等、イベント開催時の貸出：6回（1,307人参加）

5 保健衛生統計

国民生活基礎調査、人口動態調査、地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例等各種定例統計等を実施した。

6 被災住民への健康支援

被災者の健康保持とこころのケアのため、精神科医師との家庭訪問、支援者の支援のための研修会、関係機関の情報交換と支援計画の共有のための被災市町村との連絡会等に取り組んだ。また、被災住民の健康づくりのため、保育所を会場とした園児とのふれあい昼食会を開催した。主な実績は、次のとおり。

- (1) 家庭訪問：11日・延べ45人
- (2) 個別面接：11日・延べ36人
- (3) 連絡会：10回
- (4) ほっこりふれあい食事プロジェクト in 野田村保育所：1回・76人(H30.1.13)
- (5) 台風10号被災世帯への家庭訪問：20件



ほっこりふれあい食事プロジェクト in 野田村保育所

7 母子保健

(1) 妊産婦のメンタルヘルスケア推進事業

産後うつを要因とする虐待や育児不安等を防止し、母と子の健やかな育ちを支援する地域支援体制の充実を図るため、次の事業を実施した。

- 母と子のメンタルヘルスケア研修会：1回・52名参加

(2) 妊娠・出産包括支援推進事業

医療機関及び市町村・保健所が相互に連携を図り、地域における妊娠期から子育て期までの切れ目ない継続した支援体制を構築するため、平成29年7月から隔月で次の事業を実施した。

- 久慈地域母子保健医療連絡会：4回・延べ40名参加

(3) 不妊に悩む方への特定治療支援推進事業

不妊治療の経済的な負担を軽減するため、医療保険が適用されない特定不妊治療(体外受精、顕微授精)を受けたご夫婦に対し、治療費の一部(1回の治療につき15万円、初回治療に限り30万円)を助成した。

- 特定不妊治療助成件数：15件

(4) 生涯を通じた女性の健康支援事業

思春期の青少年の健全な育成に資するため、高等学校での思春期講話(命の大切さ、妊婦体験、赤ちゃん人形抱っこ、コミュニケーションスキル、SNS、性感染症等)に取り組んだ。主な実績は、次のとおり。

- 思春期講話：3校 5回・377人参加



(久慈高校長内校思春期講話)



(久慈工業高校思春期講話)



8 脳卒中をはじめとする生活習慣病予防の推進

健康いわて21プラン(第二次)[2014→2022]に基づき、脳卒中の危険因子となる高血圧や肥満、糖尿病対策のため、適量・適塩の食生活の推進、運動の推進、喫煙対策等に取り組んだ。

また、今年度は健康いわて21プラン(第二次)の中間評価年であり、市町村及び関係団体とともに久慈保健医療圏計画の中間評価に取り組んだ(資料1-2のとおり)。

(1) 適量・適塩の食生活の推進

管内の健康づくり・栄養改善のため、保育園、学童クラブ、PTA、事業所、食生活改善推進員、栄養士、調理師、養護教諭等へ調理実習を含む講義を行った。主な実績は、次のとおり。

ア	児童・生徒食育調理実習・講義	2回、108人
イ	PTA食育講演会	1回、32人
ウ	食生活改善推進員調理実習・講義	2回、44人
エ	給食施設職員、養護教諭講義	2回、93人
オ	食生活に関する事業所出前講座	5回、705人

(2) 運動習慣の定着の推進

運動習慣定着のため、市町村及び事業所を対象に運動の出前講座を行った。

ア	運動に関する事業所出前講座	6回、720人
イ	市町村健康づくり出前教室（運動）	5回、92人

(3) 喫煙対策

管内における喫煙者に対する禁煙教育と未成年者の喫煙防止対策を推進し、喫煙による健康被害を防止することを目的として、出前講座や職員の禁煙教室に取り組んだ。主な実績は、次のとおり。

ア	世界禁煙デーに合わせた庁舎喫煙所閉鎖、ポスター掲示等の普及啓発
イ	世界禁煙デーに合わせた未成年の喫煙防止講話：1回・65人参加
ウ	禁煙支援マスターによる防煙教室：2回・延べ135人参加
エ	事業所出前講座：4事業所619人
オ	飲食店における栄養成分表示及び禁煙・分煙飲食店の拡大講習会：9回
カ	禁煙・分煙の飲食店・喫茶店の登録：1店舗
キ	禁煙・分煙おもてなし宿泊施設の登録：1施設

(4) その他

ア 郵便局とのタイアップにより、年賀状による脳卒中予防の普及啓発を実施（管内13,862世帯配達）

イ 国民健康栄養調査

国民の身体状況、栄養摂取量及び生活習慣状況を明らかにし健康増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的に実施するもの。

調査地区 洋野町宿戸地区

対象世帯 19世帯、57人対象

協力世帯 17世帯（身体状況12人、食物摂取状況43人、生活習慣44人）



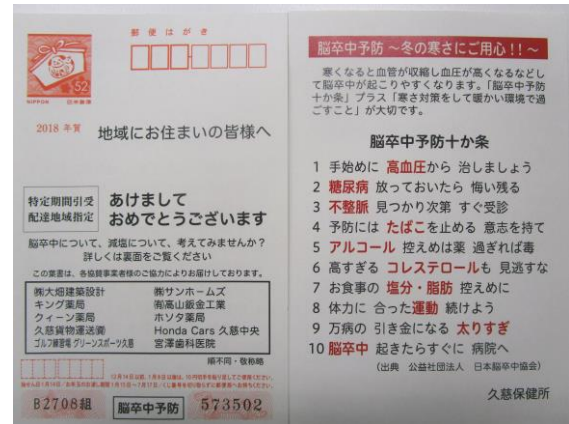
（事業所出前講座・職員による健康測定）



（宇部小学童クラブ：食育調理実習）



(市町村健康づくり出前教室:ヨガ)



(年賀状による普及啓発)

9 歯科保健

学齢期から、生涯を通じて健康な歯と歯肉を保持し全身の健康増進及びQOLの向上を図るため、学校保健の一助として、高等学校に歯科医師及び歯科衛生士を派遣し、ブラッシング指導を実施した。また、いい歯の日に合わせ、地域における歯科保健医療関係者の資質向上を図るために、幼児期における歯と口の健康づくりをテーマに、研修会を実施した。主な実績は、次のとおり。

- (1) 高等学校でのブラッシング指導：5回・延べ94人参加
- (2) 久慈地域歯科保健医療従事者研修会：44人参加（平成29年11月8日）
- (3) イー歯トープ8020出前健口講座：2回・48人参加



(大野高校歯科ブラッシング指導)



(イー歯トープ8020出前健口講座：養教部会)

10 感染症対策

(1) 感染症発生予防・まん延防止対策

感染症の発生予防とまん延防止等を図るため、感染症発生動向調査等を行い、流行時には市町村及び関係機関へ情報提供を行った。また、北いわて医療関連感染制御ネットワーク(NICON)との連携のもと、医療機関、高齢者や障がい者の利用施設、保育所等の職員を対象とした研修会・出前講座を実施した。

腸管出血性大腸菌感染症発生や施設等における感染性胃腸炎集団感染等の発生の際は、積極的疫学調査や感染症まん延防止について指導を実施した。主な実績は次のとおり。

- ア 北いわて医療関連感染制御ネットワークと連携した研修会の開催：61人参加
- イ 管内施設等への出前講座：2回・65人参加
- ウ 感染症発生届（結核を除く）件数：4件
(内訳：腸管出血性大腸菌感染症：2件、A型肝炎：1件、レジオネラ症：1件)
- エ 感染性胃腸炎集団感染事例件数：2件
- ※ 久慈保健所管内インフルエンザ発生動向については資料1-3参照。

(2) 結核対策

結核患者の適正な医療の確保をするとともに感染の蔓延防止のため、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、積極的疫学調査の実施、就業制限、入院勧告、感染症診査協議会の開催、患者家族や接触者等を対象とした接触者健康診断を実施した。

また、医療機関、高齢者や障がい者施設等の職員を対象とし、結核に関する出前講座・研修会を実施した。主な実績は次のとおり。

- ア 平成 29 年新登録患者数：11 人
- イ 平成 29 年新登録潜在性結核感染症患者数：9 人
- ウ 感染症診査協議会の開催：18 回、申請件数 38 件
- エ 接触者健康診断：保健所実施 172 件、病院委託 62 件
- オ 結核に関する研修会・出前講座の開催：3 回・98 名参加

(3) 新型インフルエンザ等対策

新型インフルエンザ、鳥インフルエンザ等の発生に備えるため、感染症の発生動向の把握、防護服、消毒薬等必要物品の整備、患者搬送に係る訓練等に取り組んだ。

主な実績は、次のとおり。

- ア 県立久慈病院と連携した新型インフルエンザ疑い患者対応訓練の実施
(平成 29 年 11 月 20 日)
- イ 鳥インフルエンザ発生を想定した集合施設訓練 (平成 29 年 11 月 29 日)
- ウ 鳥インフルエンザ発生時に備えた PPE 着脱訓練 (平成 29 年 9 月 8 日)
- ※ 鳥インフルエンザ発生時の対応については資料 1-4 参照。

(4) エイズ・性感染症等対策

エイズ・性感染症の蔓延を未然に防止するため、エイズ相談窓口の設置、匿名による相談や HIV 抗体検査 (迅速検査を含む)、性器クラミジア病原体検査、HTLV-1 抗体検査、梅毒検査等に取り組んだ。主な実績は、次のとおり。

- ア 相談窓口開設：10 回、面接相談 1 件 (性感染症)、電話相談 7 件 (内訳：エイズ 4 件、性感染症 3 件)
- イ 抗体検査・前後の相談：HIV15 件、性器クラミジア 6 件、梅毒 7 件、HTLV-1 1 件
- ウ 世界エイズデー前後 1 週間のレッドリボンツリー等の設置 (合同庁舎 1 階) 及び保健所職員によるレッドリボンの着用
- エ 高校生への思春期講話で性感染症についての内容を盛り込み、予防啓発グッズを配布。



(NICON 研修)



(新型インフルエンザ訓練)



(レッドリボンツリー等掲示)

(5) 肝炎対策

新たな感染者を発見し適切な医療に結びつけるため、肝炎ウイルス検査を実施するとともに、肝炎治療特別促進事業(医療費助成)を実施した。実績は次のとおり。

ア 肝炎ウイルス検査 9件

イ 肝炎治療特別促進事業

C型ウイルス性肝炎の根治を目的として行われるインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療で保険適用となっているものを対象として、医療費を助成した。

新規 10件、更新 38件

11 難病対策

在宅難病患者の療養を支援するため、患者及びその家族への相談支援等に取り組んだ。

また、難病のうち指定難病患者への医療費の公費負担にかかる特定医療費(指定難病)受給者証交付の申請窓口事務を実施した。主な実績は、次のとおり。

(1) 申請件数：563件(内訳：新規45件、更新456件、変更等68件)

(2) 市町村窓口での出張受付：4回、3箇所

(3) 電話相談：8件

(4) 面接相談：6件

(5) 訪問指導：10件

(6) パーキンソン病療養者と家族の交流会

：18人参加(患者8人、家族6人、支援者4名)(平成29年10月25日)



(パーキンソン病患者と家族の交流会)

12 こころの健康づくり・自殺対策の推進

地域住民のこころの健康づくりの推進を図るとともに、心の悩みや不調を抱えた方を早期にみつけ、必要な支援につなげることでできる人材の養成や関係者の連携の強化を図るため、住民への普及啓発、ネットワーク連絡会における研修等に取り組んだ。

(資料1-5参照)



(メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会)



(いきる支援セミナー)



(自殺予防月間の普及啓発)

13 精神保健福祉

(1) 精神障害者入院等措置事業

精神障害者警察官等通報に係る主な実績は次のとおり。

- ア 申請・通報件数：20 件
- イ 措置入院者数：0 件

(2) 精神保健相談

精神障害者の早期治療の促進及び地域住民の精神保健の保持増進を図るため、専門医による相談、保健師等による相談（面接・電話・訪問）に取り組んだ。主な実績は、次のとおり。

- ア 専門医による精神保健福祉相談（毎月第3金曜日）：0 件
- イ 保健師等による面接相談：107 件
- ウ 保健師等による電話相談：118 件
- エ 保健師等による訪問指導：44 件

(3) 精神障がい者社会復帰促進事業

在宅精神障がい者の社会復帰の促進のため、社会適応訓練事業の実施など事業拡大に取り組んだ。主な実績は、次のとおり。

- ア 委託事業所：6 事業所
- イ 訓練者：7 人、訓練日数 718 日

(4) 精神障害者福祉手帳の交付等

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費（精神通院）受給者証交付事務を実施した。

- 精神障害者保健福祉手帳交付件数：224 件
- 自立支援医療費（精神通院）受給者証交付：1,204 件（新規・更新・変更・再交付含む）

(5) ひきこもり対策

ひきこもりについて、家族及び本人への支援を推進し、ひきこもり者の社会参加と自立を促進するため、相談窓口の設置、ひきこもり支援者への研修会、本人・家族の居場所（フリースペース）を開設した。主な実績は、次のとおり。

- ア 相談件数（面接・電話）：28 件
- イ 訪問指導：2 件
- ウ ひきこもり相談支援者研修会：2 回、40 人参加
- エ 不登校・ひきこもり専門相談：1 件
- オ フリースペース：8 回、延 41 人
- カ ひきこもり家族教室：1 回、24 人参加

14 食品衛生

(1) 営業許可、監視指導等

食品営業施設に対し、営業許可、監視指導及び収去検査などの食品衛生対策に必要な事業を実施した。主な実績は、次のとおり。

- ア 営業許可：新規 74 件、継続 216 件、臨時 105 件
- イ 監視指導：許可を要する施設に対する監視延べ 892 件、
許可を要しない施設に対する監視延べ 960 件
- ウ 収去検査：65 検体

(2) 食品衛生に関する情報提供

久慈管内では、ここ数年の間、食中毒事件は発生していないものの、継続して食中毒の発生を予防するため、住民及び営業者に対し講習会、監視指導及び食品衛生月間行事等を通じて、食中毒の予防対策法等の食品衛生に関する情報提供をした。主な実績は、次のとおり。

○ 講習会：21回開催・446人参加



講習会（5月23日）



食品衛生パレード（8月1日）

15 薬務・献血

(1) 医薬品等の適正な管理等

薬局・医薬品販売業及び毒物劇物販売業者に対して、医薬品等の適正な管理、販売保管状況等の監視指導を行った。主な実績は、次のとおり。

ア 薬局・医薬品販売業等施設数：157箇所、監視数延べ103件

イ 毒物劇物販売業施設数：39箇所、監視数延べ45件

(2) 危険ドラッグ等薬物乱用防止

危険ドラッグ等薬物乱用防止のため、23名の薬物乱用防止指導員、薬剤師会の協力を得て地域に密着した啓発活動を実施するとともに、当所から高等学校等へ講師を派遣し、薬物乱用防止教室を開催した。

また、不正大麻、けしを抜去し、その撲滅に努めた。大麻の抜去本数は県内において最多となっており、主な実績は、次のとおり。

ア 薬物乱用防止教室：3回開催、267人参加

イ 抜去：大麻 約17,300本、けし470本



大麻抜去作業（8月3日）

(3) 献血思想の普及啓発

市町村及び献血推進団体と連携して、献血思想の普及啓発に努めた。主な実績は、次のとおり。400mL献血率の目標は95.0%と設定されているもの。（平成29年12月末現在）

ア 200ml献血：目標18人※、実績16人、達成率88.9%

イ 400ml献血：目標870人※、実績880人、達成率101.1%

※平成29年12月末における目標人数

400mL献血率：98.2%
(イ/(ア+イ))

16 狂犬病予防・危害防止

犬による危害の発生を防止するため、放浪犬の捕獲、抑留を行うとともに、犬の飼い主に対し、正しい犬の飼い方について啓発を行った。また、平成25年9月の動物の愛護及び管理に関する法律の改正に伴い、管内の犬猫の殺処分数を減らすため譲渡事業に力を入れている。（犬の譲渡率 H24年度28.9%→H28年度62.5%に向上）

一般社団法人岩手県獣医師会久慈支会、管内で活動する動物愛護団体（わん’ S 倶楽部）及び岩手県動物愛護推進ボランティアと連携して動物愛護週間行事として動物愛護フェスティバル in 久慈、動物慰霊祭及び災害時の同行避難訓練を実施した。狂犬病予防等に関する主な実績は、次のとおり。

（1）～（2）平成 29 年 12 月末、（3）～（5）平成 30 年 1 月末現在）

- （1） 総登録頭数：3,743 頭（うち新規 227 頭）
- （2） 狂犬病予防注射頭数：2,953 頭
- （3） 捕獲抑留頭数：19 頭
- （4） 犬の返還頭数：7 頭
- （5） 犬の譲渡頭数：5 頭
- （6） 犬の苦情件数：49 件



動物慰霊祭（9月20日）



動物愛護フェスティバル in 久慈
（9月18日）



災害時同行避難訓練
（8月26～27日）

17 生活衛生

旅館、理・美容所、クリーニング所、公衆浴場、興行場の施設について、衛生の確保・向上に向けた監視指導のほか、建築物の環境衛生を確保するため、事業者の登録、指導等を行った。特に、本年度においては、久慈市内の公衆浴場においてレジオネラ菌が検出され、施設の使用自粛を要請し改善指導を行った。

生活環境施設に関する主な実績は、次のとおり。

- 施設数：383 施設、監視数延べ 156 件

18 水道施設指導

水道施設については、ライフラインの基盤となる施設であり衛生確保が求められる施設である。本年度においても立入検査を行ない維持管理について指導を行うことにより、水道水の安全確保に努めた。また、一般飲料用井戸についても、依頼による水質検査の実施や衛生確保を図るうえでの必要な措置等の指導を行った。主な実績は、次のとおり。

- 施設数：54 施設、立入検査数延べ 42 件

19 浄化槽指導

浄化槽は、公共用水域の保全や公衆衛生を確保するために必要な施設であり、設置者にあつては適正な維持管理が求められる。本年度においても設置者に対して法定検査の励行等適正な維持管理について指導した。また、不適正浄化槽について管理者や維持管理業者に対する立入検査を行った。主な実績は、次のとおり。

- 施設数：3,821 施設、立入検査数延べ 6 件